

平成26年度公営企業局予算見積総括表

電気事業会計

平成26年度予算見積額	2,878,387 千円
平成25年度当初予算額	1,842,145 千円
差引増減額	1,036,242 千円
対前年度比率	156.3 %

工業用水道事業会計

平成26年度予算見積額	352,594 千円
平成25年度当初予算額	512,591 千円
差引増減額	△ 159,997 千円
対前年度比率	68.8 %

病院事業会計

平成26年度予算見積額	20,493,530 千円
平成25年度当初予算額	21,074,668 千円
差引増減額	△ 581,138 千円
対前年度比率	97.2 %

※平成26年度予算見積額には、人件費(概算)を含むため、今後変更となります。

平成26年度 公営企業局予算見積体系表

1 電気事業会計

(単位:千円)

電 気 事 業	26年度当初 予 定 額	25年度当初 予 定 額
収益的収支	△ 242,201	68,752
収益的収入	1,904,272	1,395,815
水力電力料	1,328,437	1,291,536
雑 収 益	540	539
風力電力料	78,105	75,649
受 取 利 息	7,927	13,648
駐車場収益・他会計負担金	7,871	8,136
長期前受金戻入	19,226	-
特 別 利 益	462,166	6,307
収益的支出	2,146,473	1,327,063
水力発電費	916,559	958,448
・ 吉野発電所 洪水吐ゲート機械台塗装	18,765	
一 般 管 理 費	218,698	250,623
風力発電費	82,795	57,160
・ 大豊発電所 タワートップ部外周面非破壊検査	9,094	
支払利息及び企業債取扱諸費	10,903	13,211
新エネルギー推進費	2,826	2,390
・ 新エネルギー推進事業、地域交流推進事業	2,826	
駐車場管理費	251	248
消費税及び地方消費税	60,192	40,983
特別損失・予備費	854,249	4,000
資本的収支	△ 224,888	92,939
資本的収入	507,026	608,021
投資有価証券償還金	499,000	600,000
貸付金償還受入金	8,026	8,021
資本的支出	731,914	515,082
建設改良費	381,493	154,858
・ 杉田発電所 取水口制水門扉開閉装置及び 除塵機開閉装置取替	191,057	
・ 再生可能エネルギー活用事業費補助金	20,000	
投資有価証券	300,000	300,000
企業債償還金・予備費	50,421	60,224

2 工業用水道事業会計

工業用水道事業		26年度当初 予定額	25年度当初 予定額
収益的収支		61,028	5,452
収益的収入		349,045	169,939
給水収益等		169,157	163,979
受取利息・駐車場収益・他会計負担金		5,850	4,960
長期前受金戻入		96,269	-
特別利益		77,769	1,000
収益的支出		288,017	164,487
給水費		98,108	92,409
・鏡川工業用水道 水管橋耐震診断	9,084		
一般管理費		21,510	21,366
減価償却費・資産減耗費		129,336	38,708
支払利息及び企業債取扱諸費		5,556	6,355
駐車場管理費		665	576
消費税及び地方消費税		5,563	2,073
特別損失・予備費		27,279	3,000
資本的収支		△ 64,577	△ 62,930
資本的収入		0	285,174
他会計借入金等		0	285,174
資本的支出		64,577	348,104
建設改良費		36,837	124,300
・鏡川工業用水道 送水ポンプ場地下水槽耐震補強設計	6,812		
企業債償還金等・予備費		27,740	223,804

3 病院事業会計

(単位:千円)

26年度当初 予算見積額	25年度当初 予算額
-----------------	---------------

病院事業	26年度当初 予算見積額	25年度当初 予算額
収益的収支	△ 5,503,604	△ 1,224,303
収益的収入	13,135,992	11,989,935
医業収益	10,137,063	9,442,952
入院収益	7,215,186	6,688,777
外来収益	2,672,813	2,539,793
その他医業収益	249,064	214,382
医業外収益	2,984,656	2,546,980
特別利益	14,273	3
収益的支出	18,639,596	13,214,238
医業費用	13,338,565	12,711,101
医業外費用	455,885	407,689
特別損失	4,844,146	94,448
予備費	1,000	1,000
資本的収支	0	0
資本的収入	1,853,934	7,860,430
企業債	727,000	4,904,200
借入金	322,767	539,426
負担金	800,827	852,788
補助金	3,340	226,656
その他資本的収入		1,337,360
資本的支出	1,853,934	7,860,430
建設改良費	746,424	6,528,373
企業債等償還金	1,107,510	1,332,057

平成26年度 公営企業局予算見積の概要

1 電気事業

平成26年度予算見積額

収益的予算	H26	H25	増減
総収益	1,904,272	1,395,815	508,457
総費用	2,146,473	1,327,063	819,410
当年度損益	△ 242,201	68,752	△ 310,953

増減の主な要因：新会計基準への対応(引当金等)

単位：千円

資本的予算	H26	H25	増減
収入	507,026	608,021	△ 100,995
支出	731,914	515,082	216,832
収支	△ 224,888	92,939	△ 317,827

増減の主な要因：改良工事費の増加

(1)水力発電

永瀬、吉野、杉田の3つの水力発電所で、年間 166,684,000kWh の発電を予定しており、発電した電力は、四国電力株式会社に販売します。

安定した電力供給を行うため、26年度から新たに導入される会計基準にも対応したうえで、施設の改良及び修繕工事を計画的に実施します。

【改良・修繕工事】

杉田発電所	取水口制水門扉開閉装置 及び除塵機開閉装置取替	191,057 千円
吉野発電所	洪水吐ゲート機械台塗装	18,765 千円



(2)風力発電

野市、大豊、甫喜ヶ峰の3つの風力発電所、計5基で、年間 3,908,700kWh の発電を予定しています。

落下事故があった県外の風車と同型機である大豊発電所で安全性を確認するための詳細な検査を実施するなど、適切に維持管理を行い、環境にやさしい電力を供給します。

【改良・修繕工事】

大豊発電所	タワートップ部外周面非破壊検査	9,094 千円
-------	-----------------	----------

(3)再生可能エネルギーの推進

小水力発電所の建設や新エネルギー導入に関する調査・検討など、再生可能エネルギーを活用する取組を継続的に実施します。

併せて、市町村等が行う再生可能エネルギーを利活用した具体的な事業に対しての支援を継続します。

また、風力発電などの再生可能エネルギーや環境問題について、県内の小中学校等で「出前授業」を開催します。

再生可能エネルギー利活用事業費補助金(市町村対象)	20,000 千円
新エネルギー推進事業	2,066 千円
地域交流推進事業(年間 18 回予定)	760 千円

2 工業用水道事業

平成26年度予算見積額

収益的予算	H26	H25	増減
総収益	349,045	169,939	179,106
総費用	288,017	164,487	123,530
当年度損益	61,028	5,452	55,576

単位:千円

資本的予算	H26	H25	増減
収入	0	285,174	△ 285,174
支出	64,577	348,104	△ 283,527
収支	△ 64,577	△ 62,930	△ 1,647

増減の主な要因：新会計基準への対応(償却制度等)

増減の主な要因：借入金及び償還金の減少

高知市の港地区をはじめとした工業地域に年間 9,178,290m³、香南市の工業団地に年間 341,640m³の給水を予定しています。

産業基盤の一つである低廉豊富な工業用水を安定的に企業へ提供するため、新しい会計基準にも対応したうえで、工業用水道の適切な運転管理を行います。

【南海トラフ地震対策】

鏡川工業用水道	水管橋耐震診断	9,084 千円
鏡川工業用水道	送水ポンプ場地下水槽耐震補強設計	6,812 千円



3 病院事業

病院事業は、あき総合病院、幡多けんみん病院の2病院で、本県における地域の中核病院として、地域医療の確保、高度な医療の実施、医療水準の向上等、県立病院の公共性と公営企業としての経済性を発揮するとともに、医療サービスの向上に努めています。

また、災害拠点病院として非常用発電機の燃料タンクの増設や災害備蓄の充実など南海トラフ地震対策をハード・ソフトの両面で早急に進めていきます。

■収益的予算 (単位：千円)

	H26	H25	増減
総収益	13,135,992	11,989,935	1,146,057
総費用	18,639,596	13,214,238	5,425,358
当年度損益	△ 5,503,604	△ 1,224,303	△ 4,279,301
収益的資金収支	244,012	13,801	230,211

※ 「収益的資金収支」は、現金支出を伴わない減価償却費や特別損失に計上した新病院の整備に伴う旧安芸病院の一般病棟等の除却費用等を除いた場合の資金収支

※ 対前年増減の主な要因

- 【収益】 あき総合病院の体制の充実による医業収益の増等 +694,111千円
- 【費用】 新地方公営企業会計への移行処理（退職給付引当金、賞与引当金） +2,896,422千円
- 【費用】 旧安芸病院の一般病棟等の解体に伴う除却費 +1,888,352千円

■資本的予算 (単位：千円)

	H26	H25	増減
収入	1,853,934	7,860,430	△ 6,006,496
支出	1,853,934	7,860,430	△ 6,006,496
収支	0	0	0

※ 対前年増減の主な要因

- 【支出】 あき総合病院整備（Ⅱ期建設工事、医療機器購入等）の終了 △5,783,173千円

(1) あき総合病院

平成26年4月に新病院がフルオープンします。
安芸地域とともに歩み、人々の心と体の健康を支える急性期病院として、良質な医療を安定的に提供していくことを目指します。



【南海トラフ地震対策】

- ・災害備蓄の整備（患者、職員用 3日分 → 7日分） 5,094千円
- ・非常用発電機の燃料タンク増設 45,251千円

(2) 幡多けんみん病院

幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関等との連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。



【南海トラフ地震対策】

- ・災害備蓄の整備（患者、職員用 3日分 → 7日分） 5,463千円
- ・災害備蓄食料品の保管倉庫棚の整備 9,314千円
- ・排水設備耐震診断業務 3,467千円